

会 議 録

会議の名称	平成22年度第2回行田市地域公共交通会議
開催日時	平成22年8月23日(月) 開会：午後1時30分・閉会：午後3時20分
開催場所	市役所305会議室
出席者(委員)氏名	羽鳥副市長、伊藤克俊委員(代理出席：清水氏)、鈴木貴大委員、長島豊委員、新井友一委員、新井忠晴委員、鶴岡洋委員、高原昭委員、平野克行委員、内田愛三郎委員、久保田和市委員、池田豊委員、橘井公治委員、小池武男委員、小高巖委員、金子浩之委員、鎌田裕建設部長、高橋秀雄総合政策部長、小川栄一市民生活部長、宮崎薫環境経済部長、岡田真彦健康福祉部長(代理出席：大谷健康福祉部次長)
欠席者(委員)氏名	田尻要委員
事務局	生活課：夏目課長、菅原主幹、吉田主査
会議内容	司会 夏目生活課長 議事 (1) 第1回会議の補足説明 (2) 行田市都市計画道路(南大通り線)全線開通に伴う新たな路線の運行の承認について (3) 平成23年度以降の行田市市内循環バスの運行計画の承認について (4) その他

<p>会 議 資 料</p>	<p>(資料名・概要等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行田市地域公共交通会議委員名簿 ○平成22年度第2回行田市地域公共交通会議 座席表 ○平成21年度行田市市内循環バス 路線別収支率及び1人当たりの運行経費 ○県内市が運行に関わるバスの運行経費等について(収支率の低い順) ○県内市が運行に関わるバスの運行経費等について(1人当たりの運行経費が高い順) ○行田市都市計画道路(南大通り線)新運行路線 時刻表(素案) ○行田市都市計画道路(南大通り線)新運行路線バス停留所(素案) ○平成23年度以降の市内循環バスの運行計画について ○西循環コース2分割化(通勤通学用コース) ○西循環コース2分割化(観光用コース)
<p>そ の 他 必 要 事 項</p>	<p>傍聴者1名</p>

司 会	1 開会
議 長	2 会長あいさつ
	3 議事
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事に入らせていただく。 ・ 議事（１）「第１回会議の補足説明」について、事務局から説明をお願いします。 <p>＜資料１ 「平成２１年度行田市市内循環バス 路線別収支率及び１人当たりの運行経費」</p> <p>資料２－１「県内市が運行に関わるバスの運行経費等について（収支率の低い順）」</p> <p>資料２－２「県内市が運行に関わるバスの運行経費等について（１人当たりの運行経費が高い順）」</p> <p>に基づき説明＞</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局より説明があったが、意見等があればお願いします。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収支率１０％は厳しい状況であるが、それに対し今後どうするかを検討して欲しい。また、今後の方策等は考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線の維持について、どこに重点をおくかは色々と考えがあると思うが、本市においては、高齢者、障害者等の交通手段を持たない人の足ということに重点を置いており、限られた利用者ではあるが、利用者の貴重な足になっていると認識しているが、市の貴重な財源を投入する関係もあるため、収支率は注意深く見守っていききたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が市民であるか、市外であるかはわかるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者のうちで、市民と観光客それぞれの数は、把握していない。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の資料３－６の２の「循環バスの現状」を認識した上での路線見直しの提案か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の資料３－６「行田市市内循環バス新運行路線等にかかる原案」については、平成２０年度に公募市民を交えて検討の上、

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>提案されたものであり、利用人数や他の資料を見た上で現状分析したと聞いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行田は南西の隅に J R 行田駅があり、今回の南大通り線の開通に合わせて、利便性の高い J R 行田駅向けの路線を 1 本開通したい。また、収支率というのも一つの見方であるが、循環バスは民間路線バスの隙間を埋めるのが役割と考えているなかで、8 万人の利用者があるということも理解していただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・承認した結果がもっと悪い方向にいくとなると、会議に出席している人の責任は大きい。市民にとって便利になるのであれば承認できるが、そういかないのではないかと考える。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・路線別の分析では、西循環は収支率が 25% 近くで一人当たりの経費も 350 円となっているが、北西循環、北東循環、東循環は利用率、収支率ともに低い状況である。J R を基点としている西循環とそれ以外の 3 路線で大きな開きがあるが、西循環を除く 3 路線についても、中長期的にどうするのかを検討しなくてはならないと考えている。また、一方では、今後高齢者が増えていくなかで、路線バスの走っていない中心部から北部についての隙間を埋める役割が西循環を除く 3 路線に課せられていることも理解をいただきたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。 ・議事の 2 番目「行田市都市計画道路（南大通り線）全線開通に伴う新たな路線の運行の承認について」、事務局から説明をお願いする。
事務局	<p><資料 3 - 1 「行田市都市計画道路（南大通り線）新運行路線時刻表（素案）」</p> <p>資料 3 - 2 「行田市都市計画道路（南大通り線）新運行路線バス停留所（素案）」</p> <p>に基づき説明></p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・今説明のあった新設の停留所は決まったわけではなく、市が考えている案ということでよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表も承認を得てからということによいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表については、運転手の休憩時間、車両の入れ替え等の時間をまったく考慮していないため、部分的に変わってくると思われる。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまでイメージとして捉えればよいということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージでよい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問等あればお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地図は2万分の1となっているため、1 c mにつき200 mで見たい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・総延長では6.9 kmとなっている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・細かい部分はあるが理解いただき、大枠で合意いただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の民間路線バスと重複しているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・並行してはいないが、クロスする部分はある。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・赤の実線が125号線までとなっているが、そこに停留所ができるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地の人達の利用を見込んで国道より少し手前の方に停留所を設定している。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・収支率の関係で検討するという話があったが、何年間走らせるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的には業者を決めてどのように許可をもらうのかという話しになるが、1年間の実証運行あるいは3～5年の期間を決めて本格運行するかは、今後検討していきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・赤の実線の周辺住民や工業団地、市内住民がJR行田駅へバスを通して欲しいという実績のようなアンケート結果等は示してくれるのか。

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・路線が開通したら、というアンケートはとっていない。前回の会議で提示した資料に昨年9月に報告されている市民意識調査がある。この中で市内循環バスの利用目的としては、電車への乗り継ぎと通勤通学、今後の利用条件では高崎線、秩父線への乗り継ぎ等の整備という調査結果が出ている。今示せる市民の意向を確認しているものとしては、市民意識調査と工業団地内で組織されている協議会から話を聞いたものしかないが、南大通り線が開通することにより直線的にJR行田駅に乗り入れられる、便利になる、という声は聞いている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、路線バスの運行では工業団地での利用者が多くないのが現状である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の会長とも話をした。バスの利用について聞いたが、工業団地への通勤は自家用車がほとんどである。しかしながら、昭和40年代の都市計画変更のときに工業団地ができ、いずれJRと繋がるということを知り、工業団地に会社を持ってきた。今まで通ってなかったのがようやく通る。市内からの勤めでバスが通れば利用する人もいないのではないかという話は聞いている。今後、工業団地協議会の企業に対して、路線を走らせた場合、どの程度の利用があるか等のアンケートを実施したいと考えている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・今度通る南大通り線のバスと従来からある西循環等と乗り換えられる接点はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・水城公園から現在のターミナルまで歩いていただければ、乗り継ぎは可能である。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・提言の中でも西循環は増やしたほうがいい、他の路線は考えるべきだと載っている。総合的に考え切り詰めるべきは切り詰めて将来の需要に繋げる等、全体的な計画があり、それを見せてもらえれば判断できるが、これから工業団地の人数を確認する

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>ということでは承認しかねるのでは。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地とを結ぶ路線であり、通勤通学の利用を見込んでいる。藤原町附近や長野3、4丁目は住宅が多く、そこの方達の利便性も実証的に走らせたうえで判断したい。まずは全線開通し実証的に運行して、どういった需要があるのかないのか等を見る上でも運行させていただきたいというのが市の考えである。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・費用負担も考慮して慎重に検討すべきと考えるが。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・既存業者の路線の停留所を巡回して繋げていくのが循環バスの役割である。これは完全な路線である。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・この協議会の役割、決定事項について確認したいのだが、2号議案、3号議案について承認となっているが、決議に入って否決された場合はどうなるのか。また、決議の方法はどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・決の方法については、要綱に出席委員の過半数と出ている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・否決されたときはどうなるのか。1回目の会議で資料提示がなく、今日2回目で資料提示があり決を取る。数千万円という税金がかかるものの決をとるというのは、出席している立場としてきちんとしなくては判断できない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・念願の南大通り線の開通に合わせて計画している新運行路線であるため、経費等の問題はあるが、行田の利便性を高めるということからも大枠での理解をいただきたい。今後、北西、東、北東循環等も含めて、中長期的に見直し等をしていかななくてはならないことも承知している。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・否決でもやるということか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・今日説明いただいて、これで今日、承認というのは早急なのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今の段階では細かい話しができない部分もある。路線の大枠での承認をいただき、すぐに業者の選定に入る。選定の過程の中で細かいことは決めさせていただく。新路線については、大枠

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委 員	<p>で承認をいただきたい。</p>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・今こういう路線があり、一人当たり697円かかっている。それに対して費用の軽減をする。そして、今度南大通り線が開通し、JR行田駅を市の表玄関としたい。といったような理由に基づく、青図がないと承認できないのではないか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の協議会での発言が業者選定の結果に反映されないということに約束して欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様等と今回の発言等については、関係ないと理解いただいて差し支えない。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤通学に重点を置いたということだが、公共交通を学校や就職、パート、又、住居を決める際の選定基準に入れられる方は相当数いる。住宅地の土地価格を決める際、周りに公共交通と学校と公園がどれだけあるかが3要素としてあると本で読んだことがある。公共交通は土地の価値、人の価値を決める1つの要因になるということだが、それを1年間の実証期間を経て、結果が良くなければ短縮、縮小、廃止するというのを前提に考えるのであれば、それは市民への裏切り行為なのではないか。やるのであれば、営業成績や乗車率、経費等の目安を出し、その上で、市としては路線を市の表玄関として永年運行するという固い決意がなければ運行すべきではないと考える。その決意があるのであれば、承認を急ぐ必要はない。先ほどの富士見工業団地のアンケートや沿線住民へのアンケート等の数字を踏まえて、乗車人数を見積もり、収入を割り出し、運行経費を見積もった上で、この程度のプラスマイナスがでるが実施したいので承認をお願いしたいというのが、筋ではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・念願の南大通り線の開通は、「のぼうの城」が映画化され、行田を全国にPRしていくうえで、その受け入れ態勢をしっかりと整備していく際の、足としての役割もひとつにはあると考えてい

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委 員	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市としては、南大通り線が全線開通することによって、計り知れない経済効果があると期待している。富士見工業団地へは自動車通勤が多いが、それは南大通り線が全線開通されていなかったためと考えている。経費の節減は企業でも個人でも考えることであり、南大通り線が開通しバスが通れば、通勤、通学での増員が図れると思う。また、採算ベースで考えるところが多いが、バス路線に限らず、市が通す路線だけを議論するための会議ではない。鉄道、民間バスのあり方についても、今後この会議で議論していただければと思う。その辺も考慮し、路線を通すことに承認をいただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・経済効果というデータが何もない。確かにやってみないとわからないが、現状の説明では「(2) 運行の承認」については、承認できない。また、「(3) の運行計画の承認」についても、時期尚早で漠然としており承認できない。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・南大通り線開通という市民の念願が叶うわけで、それに期待している市民も多数いるのも事実である。のぼうの城の映画化により、全国から多くの観光客が行田市へ来ていただけることも期待しており、観光にも力を入れていかななくてはならない。そして、多くの観光客が来ることにより、民間事業者の事業へも少なからず経済効果が期待できると考えている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・期待と念願だけで運行の承認を急がず、きちんと説明ができるようなデータを検討、研究してからのほうがいいのではないか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・データ等は運行してないのでとれないが、路線を通したらどうかというようなデータは事務局で説明したようにある。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・データをもう少し出して欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の公共交通として色々な選択肢があるが、市民がJRに行く選択肢の一つとしてこの路線がある。また、観光客が来て目

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
議 長	<p>的地に着くための公共交通の体系の整備のために会議を立ち上げた。行田市の未来に向かって議論いただくのはいいことだが、先ずは南大通り線及び次の議事の西循環の2分割化に理解いただきたい。現在はデータが少ないが、今後データの収集についても、やっていかななくてはならないと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市としてはやりたいのかどうか、市の考え方の説明をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・南大通り線については、1月の開通に合わせて、新路線を早急に運行したい。1月までにはあと4ヶ月しかなく、大卒で承認をいただき、その後業者の選定、業者決定後に国交省地方運輸局に路線の許認可申請となるが、その許認可に最低2ヶ月かかると言われている。色々な意見等あるが、理解いただきたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・データをこれから集めるのには時間がかかると理解しているのか。データを集める期間をとって、その後この会議を開いて決める場合、ギリギリいつまでに決めればよいか。今日決めないと駄目なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・南大通り線の開通に合わせて走らせるには、データを集めて収支等の分析をしてからではスケジュール的に時間がない。実証運行して駄目だったらやめるのでは公共交通として成り立たないという話があったが、市としてはこの路線は長くやりたい。続けられるかどうかのデータは走らせた上で、今後のこの会議の席で示し、委員から駄目といわれれば縮小、便数を減らす等、会議の中で話をしていただきたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・案を出しておいて、データ収集は並行して進めるということではよろしいか。また、集まったデータについては、改めてこの会議で示すということではよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりでよい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・市の言いたいことも分かるが、予測と期待だけで裏づけがない

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委 員	<p>のでは判断できず、承認できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のコミュニティバスの本来のあり方、一般の路線バスの本来のあり方を考えたとき、かゆい所に手が届くのがコミュニティバス本来のあり方と考える。赤の実線は完全に路線バスである。前回にも言ったが、黒の実線の影響は大きい。運賃についても、100円を200円にしても利便性が良くなるのであれば、検討する価値があるのではないか。また、バスターミナルへの乗り継ぎ、一般の路線バスとの乗り継ぎもままならないのであれば、単独のコミュニティ路線として、200円でもいいと思う。それより、市民の希望と言われているが、アンケートをとっていない。まずアンケートをとってからでもいいのではないか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスをひく場合、都市計画の中に位置付けるのが普通である。また、地域住民が率先してバス停を設けたい等、地元の住民から声があがるのが大抵のコミュニティバスのやり方である。また、南大通り線については、分割後三つの路線が走るのが、同じところを三つの路線が走ることはあまりない。こういうことも含めて本当にこの路線がいいのか考えるべきではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘のとおり、南大通り線と西循環の2分割化を入れると、JR行田駅から水城公園までは三つの路線が重複して走る。それだけJRの需要があるとの認識から拡充するものである。現在の循環バスの路線でも、ターミナルから行田市駅まで4路線が重複して走っている。公共交通として駅は大事な要素であると考えられるので、理解いただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・市の都市計画を見据えて総合的に検討して欲しい。協議会で議論する上で、委員の判断を促すようなものが必要と考える。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな路線は、地域住民の強い要望を受けてひく例が多い。要望を受けて路線をひいて、収支率が悪ければ廃止というやり方

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
議 長	<p>もある。地域住民からのアンケートをとる等、意見を求めるのがいいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南大通り線の設置について、市が予定している停留所の近隣住民のアンケートをとったらどうかという提案について、やれるかのどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・早急に考えて実施する方向でやりたい。 ・自治会連合会、地区連合会長の協力を得て、近隣住民へのアンケートは並行して行いたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをとる上でのお願いだが、「乗りますか、乗りませんか」というアンケートは取らないでいただきたい。頻度や通勤通学での利用か等、細かい内容でとっていただかないと意味がない。また、現在、富士見工業団地の中で社員の送迎バスを希望している企業はない。工業団地協議会へのアンケートも同様をお願いしたい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員へ示せるデータを集めて改めて諮ることにしたいと思う。 ・議事の3番目「平成23年度以降の行田市市内循環バスの運行計画の承認について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><資料4-1「平成23年度以降の市内循環バスの運行計画について」</p> <p>資料4-2「西循環2分割化（通勤通学用コース）」</p> <p>資料4-3「西循環2分割化（観光用コース）」</p> <p>に基づき説明></p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・西循環を増やして路線を増やすということによいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・意見等あればお願いします。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・西を分割し、台数を現在の4台から5台にするということか。それとも、朝は通勤通学用、昼は観光用ということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・5台と考えていただきたい。

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・西を2分割するというより、新たにもう1路線作ると理解すればよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日からの実施でよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に今走っている所と変わらないということでよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停が多少新設される程度である。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤コースは朝何時からで、1時間に何本くらい走らせるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は7時40分スタートだが、通勤通学だと7時かそれより早い時間も考えられる。1周に要する時間が35分程度と見込んでいるため、朝の7時、8時は戻ってきたらすぐ出ることになる。2時間で3本程度と考えている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・既存のバス路線と似ているが、今までは通勤通学の時間にかかっていなかったから影響がなかった。朝早くした場合、既存路線バスに与える影響は考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・西循環の通勤通学用コースについては、既存路線バスへの影響はないと考えている。熊谷まで出る路線との競合のことだと思うが、実際影響までは考えていない。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・終わりの時間は何時までか。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・受けた会社との相談の上でとなるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1周35分～40分くらいで回れる中で、運転手のローテーション等も考慮し、業者との話し合いで決めたいと考えているが、終わりは今とあまり変わらない時間帯と想定している。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・最後のバスがターミナルに着くのが8時前後になると思われるが、業者が決まった段階で調整したいと考えている。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・西循環について、JR行田駅から水城公園までは南大通り線の路線で担保されるから、残りの路線は死んでしまうのではないかと思う。それであれば、例えば、JR行田駅から棚田、小敷

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>田経由で城西あたりで止めて、上り線下り線という形に計画変更するのはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者の選定の際には、路線を走らせるが、業者からの提案を聞いて決めてさせていただく。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤通学以外の昼間の時間帯は動かないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・動かす。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・観光コースもずっと動かすのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見あるか。 ・西循環の2分割化については、今の委員の意見も踏まえて検討していただくとして、議事（3）については、事務局の提案でよろしいか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしい。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事（4）「その他」について、事務局から何かあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議事（2）については、今回は承認にかけられないということなので、データ等を示し、もう一度案内をしたいと思うので、理解いただきたい。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・データの取り方について漠然とした内容でなく、運賃については、「上限でいくらだったら乗るか」、運行時間帯については、「何時から何時まで」といったように聞いていただければ、より精度の高いデータが取れると思う。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の意見を参考にさせていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・参考にさせていただく。
議 長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で司会を事務局にお願いする。
司 会	<p>4 閉会</p>